

平成30年1月

逗子市教育委員会定例会

平成30年1月19日

逗子市教育委員会

会 議 録

平成30年 1月19日 逗子市教育委員会 1月定例会を逗子市役所 5階第3会議室に招集した。

◎ 出席者

教 育 長	村 松 雅
教 育 長 職 務 代 理 者	横 地 みどり
教 育 委 員	塚 越 暁
教 育 委 員	村 上 朝 鼓
教 育 委 員	星 山 麻 木
教 育 部 次 長 教育総務課長事務取扱	村 松 隆
学 校 教 育 課 長	川 名 裕
学 校 教 育 課 担 当 課 長	小 野 憲
社 会 教 育 課 副 主 幹	佐 藤 仁 彦
社 会 教 育 課 係 長	黒 川 恭 祐
図 書 館 長	安 田 清 高
図 書 館 担 当 課 長	鈴 木 幸 子
療育教育総合センター長	早 川 伸 之
療育教育総合センター主幹 兼 学 校 教 育 課 主 幹	河 原 林 薫
教 育 部 次 長 (子育て担当) 子育て支援課長事務取扱	高 橋 佳 代
子 育 て 支 援 課 担 当 課 長 (子育て支援担当)	中 村 妙 子
子 育 て 支 援 課 担 当 課 長 (青少年育成担当)	石 黒 貫 爾
保 育 課 長	杉 山 正 彦
文 化 ス ポ ー ツ 課 担 当 課 長	翁 川 昭 洋

事務局

教育総務課副主幹 坂本周史

教育総務課主事 吉井まどか

◎ 開会時刻 午後2時30分

◎ 閉会時刻 午後3時15分

◎ 会議録署名委員決定 村上委員、塚越委員

○村松教育長

会議に先立ち、傍聴の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○村松教育長

定足数に達しておりますので、ただいまから平成30年逗子市教育委員会1月定例会を開会いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は村上委員、塚越委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

◎日程第1「11月定例会会議録の承認について」

○村松教育長

日程第1「11月定例会会議録の承認について」を議題といたします。

委員にはお手元の会議録をごらんいただくようお願いいたします。

会議録について御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

御異議がないようですので、11月定例会会議録は承認いたします。

塚越委員、村上委員は会議録に御署名ください。

◎日程第2「教育長報告事項について」

○村松教育長

日程第2「教育長報告事項について」を議題といたします。

私からは、1月5日に行われました湘南三浦教育事務所管内の教育長会議について御報告をいたします。この日は、教育長会議の後に校長会と合同の研修会がありましたので、短時間で情報交換等がありました。議題については、湘南三浦教育事務所職員課から事故・不祥事防止について、平成30年度管理職人事等についての2点、それから指導課からは平成28年

度湘三管内児童・生徒の問題行動調査結果について、平成30年度の小・中学校教育課程説明会の実施について、それから来年度の執行业務についてについて説明がありました。

教職員の事故・不祥事防止については、昨年10月に県から不祥事防止についての依頼通知があり、各学校で取り組んだところですが、12月に再び、県立高校の教員で不祥事があったため、再度県からの情報提供と指導の徹底についてという内容でした。

それから管理職人事に関しては、現在、来年度の人事配置について進行中ですが、他市町、湘南三浦管外から湘南三浦教育事務所管内への教員の異動希望が増えていると。この地区で教員をしたいという、俗に言う人気があるということですがけれども、そんなような報告もありました。人事については、引き続き市町と教育事務所で現在進行中でありま。

それから、指導課からの問題行動調査の昨年度の結果については、主な内容で言うと、小学校6年生から中学校1年生に進む段階で、いじめの認知件数も不登校児童・生徒数もかなり急に増えていると。いわゆる中1ギャップと俗に言われている内容について発言がありました。それぞれ対応はしているのですけれども、割合としてはかなりの割合で増えているということがデータとしての報告がありました。

来年度の教育課程に関しては、新学習指導要領の実施に伴って、今までは実践の報告でしたけれども、来年度は文部科学省の報告会に出た指導主事からの説明会という形で行われるということについて、連絡がありました。

その後、校長会との合同で、これは講演会でしたけれども、新しい学習指導要領改定についての趣旨、主体的で対話的で深い学びについての研修があり、全部の校長が同じ内容の講演を聞いたので、これが市内でも今後還元されていくと思われま。私からは以上です。

これについて御意見はありますか。

○塚越委員

教育長会議で行われたという問題行動調査の、今、教育長がおっしゃられた小6から中1のときのいじめ件数と不登校の増加という傾向、この件に関し市内に関して同様の傾向があると把握していらっしゃる、あるいはどのような課題かを認識していらっしゃるのかどうかという点と、もしそこに対して何らか、市として積極的に対応していらっしゃるなどありましたら御教示いただければなと思いま。

○村松教育長

何かデータ等については、いかがでしょうか。

○小野学校教育課担当課長

ここではデータとしては把握を持ち合わせておりません。

○村松教育長

多分、大きな傾向の違いはないとは思われますけれども、またこちらも提出をしたデータがありますので、後日御報告をさせていただきます。

他にいかがでしょうか。

○横地委員

でも、その教育長の会議の中で、データは増えたけれども、新たな何かとか、アプローチとか、そういうことは御紹介が、もしあれば。そういうところはなかったのでしょうか、会議の中で。

○村松教育長

調査結果の報告でしたので、数的なもの、それからその割合ということが主でした。また、後の講演会も控えていたということもあります。今後、担当者レベルで多分それぞれの対策の情報交換というのは行われると思います。湘南三浦教育事務所管内ですと、例えば指導担当課長会とかですね、それから児童・生徒指導に関する情報交換会とかというのがありますので、そういう中で具体的な策についての情報交換が行われると思われまいます。よろしいでしょうか。

○横地委員

ありがとうございました。

○村松教育長

他によろしいですか。

○村松教育部次長

それでは、私から平成29年逗子市議会第4回定例会につきまして、教育委員会平成29年12月定例会で御報告した以降の概要をこの場で御報告させていただきます。

まず、12月12日、本会議が開会され、議案の表決が行われました。逗子市常勤特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正について、修正案が3件提案されましたが、いずれも否決され、その結果、全ての議案は原案が可決されております。また、陳情審査についての委員会審査結果の委員長報告が、各常任委員会委員長から行われました。

引き続き一般質問に移行し、14名の議員から質問が行われたうち、子どもセクションを含む教育委員会に係る質問は9名の議員からございました。12日は、根本議員から財政について及び支援の必要な子どもの教育についての質問がありました。13日は、匂坂議員から学校

教育について、八木野議員から小・中学校教育について及びまんだら堂やぐら群の限定公開について、橋爪議員からは待機児童対策について及び財政対策プログラムについて、加藤議員から財政対策について、田中議員からまちづくりについての質問がございました。最終日14日は、丸山議員から教育について、生涯学習について及び新電力について、毛呂議員から財政問題について、桐ヶ谷議員から学校教育についての質問がありました。主な質疑応答につきましては、お手元に資料をお配りさせていただいております。

一般質問終了後、議員提出議案8件が提案され、逗子市議会議員の定数を定める条例の一部改正について、現行18名を17名とする議案が賛成多数で、また逗子市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正については議員報酬を5%削減する議案が賛成多数で可決されました。また、平成30年4月1日就任の人権擁護委員について、石井進介沼間小学校校長ほか2名の推薦についての諮問は、全会一致で同意されています。

意見書2件、決議2件が可決された後、平井市長に対する不信任決議案が提案されましたが、記名投票の結果、賛成少数で否決されました。

以上をもって平成29年市議会第4回定例会は閉会となりました。以上でございます。

○村松教育長

本件については、別資料もありますので、見ていただいて、御質疑、御意見等ありましたらお願いいたします。

(「ありません」の声あり)

では、御質疑、御意見がないようですので、教育長報告事項についてを終わります。

◎日程第3「報告第1号教育委員会職員の人事について」

○村松教育長

日程第3「報告第1号教育委員会職員の人事について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○村松教育部次長

報告第1号教育委員会職員の人事について報告申し上げます。

教育委員会職員の人事については、緊急を要したため、逗子市教育委員会教育長に委任する事務等に関する規則第5条第1項第1号の規定に基づき、別紙のとおり平成30年1月1日付で教育長の専決により行いましたので、同条第2項の規定に基づき御報告するものです。

以上で終わります。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「ありません」の声あり)

御質疑、御意見がないようですので、教育委員会職員の人事についてを終わります。

◎日程第4「その他」

○村松教育長

日程第4「その他」を議題といたします。

その他、議事としてありますか。

○村松教育部次長

それでは、まず初めに私から、平成30年度教育予算案について御説明をさせていただきます。

平成30年度予算編成につきましては、平成29年11月7日に開催されました市総合教育会議におきまして、市長と予算編成方針、財政対策プログラムなどについて御協議をいただいたところです。お手元に平成30年度教育予算案主要事業概要として、職員給与費及び非常勤事務嘱託員報酬など、一部人件費を除いた教育委員会各課及び文化スポーツ課の平成30年度予算要求額を配付させていただきました。平成30年度予算編成は、本年3月に市議会議員選挙が執行されることから、例年に比べて約1カ月早く作業が進んでおります。既に予算査定は、ほぼ終了しておりますので、この後、2月6日に招集予定の平成30年市議会第1回定例会に議案として提案をいたします。確定をした予算案の詳細につきましては、別途改めて御説明をさせていただきますと思います。

以上で説明を終わります。

○村松教育長

本件について、御質疑、御意見はありませんか。

○横地委員

事前にこの予算主要事業概要をちょっとだけ勉強させていただいて、今御説明があったように、確定してからまた御説明ということで、それで全然構わないのですけれども、この教育委員の定例会のタイミングによって、12日作成と書いてあるのですけれども、資料がちょっと右往左往するので、なかなか数字のことは私も不得意ではあるのですけれども、わかりやすくしていただけると今後ありがたいと思っておりました。

あとは、これが保育課とか療育教育総合センターが、一緒になったりというところで、その辺の変更なりも、ちょっとわかりやすくしていただけるとありがたいかなと思いました。事前に勉強し合った上でのお話ですけれども、再確認ということで、お話しさせていただきました。

○村松教育長

これについては。

○村松教育部次長

資料のほうにつきましては、よりわかりやすいように作成するよう、次から心がけてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○村松教育長

ちょうど機構改革等もありましたので、前年度の特に当初予算額と要求額という性質のこともありますし、比較しづらい部分もありますので、それについてはまた、より中身について必要があれば御質問いただければというふうに思います。

他に御質疑、御意見はございませんか。よろしいですか。

では、その他議事として何かありますか。

○石黒子育て支援課担当課長

子育て支援課から、2点ほど御報告させていただきます。

まず、今年度29年度の成人式についてでございます。先日1月8日（月曜日）に文化プラザなぎさホールで午前11時から12時半までということで開催をさせていただきました。教育委員の皆様にも御出席をいただきまして、ありがとうございます。対象者533人に対しまして、390名の参加、約73%の出席率ということでございました。例年のとおり、警備を警備会社にもお願いしておりましたけれども、今年は騒ぐ成人もおらずに、比較的よかったというお声をたくさんの方からいただきました。来年以降も同じような形で開催をさせていただくということで今、予算のほうも計上させていただくことにしております。

2点目でございますが、ふれあいスクールの活動の日についての御報告でございます。昨年来、市の緊急財政対策プログラムにおきまして、私ども所管のふれあいスクールにつきまして、30年度予算における見直しの方向性といたしまして、非常勤職員の配置縮小ということで指示が出ておりました。これに関しまして、もろもろ検討しておりましたところ、非常勤職員の配置の縮小をするに当たっては、ふれあいスクールに来る子どもたち、児童の安全確保の観点から、放課後の利用者が多い平日のプログラムというのは変更することなく、

継続をさせていただくということにいたしまして、利用者が少ない土曜日につきましては休館をさせていただくという形をとることにいたしました。なお、土曜日を閉めることによって、子どもたちの居場所といたしましては、体験学習施設スマイル、沼間・小坪小学校区のコミュニティセンター、あるいは久木会館などのフリースペース、またそれぞれの場所におきまして講座ですとかイベントも開催されるというところを周知してまいりたいというように思っております。学校への周知につきましては、今月の下旬から新1年生の学校説明会がございますので、そのときにふれあいスクールの御案内も含めて、例年配布しておりますが、そこに記載をさせてお配りをさせていただく、あるいは在学の児童・保護者向けにも同様のお知らせを今月末から配布させていただくということで準備を進めているところでございます。

簡単でございますが、以上でございます。

○村松教育長

では、成人式とふれあいスクールの活動日と、2点ありましたけれども、これについての御質疑、御意見いかがでしょうか。

○塚越委員

それぞれに関しまして、一言お伝えさせていただければなと思います。今まで成人式についてはスケジュールが今まで合わなかったのですけれども、教育委員になって初めてお邪魔することができまして、率直に、今、御報告のあったとおり、非常にいい場だったなと感じました。それは何かというと、これは実行委員の方々の式を限られた時間の中でよきものにしようという、細部にわたる工夫が非常に温かなもので、見ていて我々も楽しくなるものだったなというのが1つと、それに対する成人の皆さんの集中というかレスポンスというか、非常に自分たちが成人になるということに関して前向きで、いい場にお互いしていこうという空気が伝わってくる、非常にいい場だったなと思いました。毎年、成人になる方々は違うので、同じようにはいかないと思いますけれども、でも、このくらいの、数百人規模のイベントですので、みんなでつくっていくという今年のような雰囲気ぜひ大切にいただければなと思いました。

続いて、ふれあいスクールに関しては、この財政がない中、平日のプログラムを変更しないで続けていただけるということは、非常に現場の皆さん、御担当の方々の努力があったのかなと思ひまして、非常にありがたいことだと思いました。

ただ、土曜日を閉めるということに関して、そこはそれ自体、仕方がないことだと思うの

ですけれども、今あった居場所みたいな話は、多分もっともっとまちじゅうの民間の活動だったり、あるいは公園だったりも含めて、まちを挙げて居場所をつくっていくということではできると思いますので、サービスとして市がやっている箇所だけではなくて、公園の利用等を含めて、市民も一体となって居場所をつくっていくというような取り組みをやっていければなど改めて思いました。以上です。

○村松教育長

ありがとうございました。

○横地委員

私も成人式に出させていただいて、ここ数年、何回か、大雪のときだけ交通の便で行けなかったのですけれども、参加させていただいています。その中で、今年は最後に、いつもプロだったりの方の演奏とか歌とかがあるのですけれども、その中で、今年是一緒になって歌おうというコーナーがあって、そこがいつもと違うなと思って、こういうスタイルもいいのかなと思っていました。

あと、今、事務局から、同じような形でという言葉が出たのですけれども、いい意味での同じような形、そして、ただその成人の人たちの何か思いがあって、オリジナリティーがあってというところの尊重というところの、多分成人を迎える人はその年だけだけれども、それを支える大人たちは多分何年か続いてやっぺらっしゃるので、大体のアドバイスもあると思うのですけれども、何か一緒に歌うとか、そういうようなひとつ、その年なりの何か変化だったり特徴があればおもしろいかななんて、ここ数年出ている中で思いました。あと、参加している皆さん、成人している方々は、比較的ここ数年の中では落ち着いている成人の方が多かったかなという感想があります。

ふれあいスクールのほうも、本当に財政で大変だということが重々承知の中で、苦渋の決断で土曜日をこういうスタイルにしたと理解していますけれども、やはりそれを頼りにしていた家庭の方、子どもたちもいると思うので、沼間・小坪はコミュニティセンターとか、久木会館とか、違う方がその子どもたちを見守るというか、すると思うので、その辺の連携なり把握なりというのは、とても大切ではないかなと思いました。もちろん、今、塚越委員が言ったように、民間の力も借りて連携する、つながりをつけるというところが、子どもたちにとってはとてもそこが安全で安心な場所というところを大人が保障しなければいけないかなと思いました。

平日に比べて土曜日のほうが、そこを利用する率が低いとさっきおっしゃったと思うので

すけれども、どのくらいの率で低いでしょうかね、わかりますでしょうか。

○石黒子育て支援課担当課長

5校全体で申し上げますと、平日が放課後大体午後2時半ぐらいから5時までの間で322人ほどの利用です。それに対して土曜日は、午前9時から午後5時までで147人、平日ですと1時間当たりに換算すると約81人の中で、土曜日ですと約18人というところで、かなり人数は減る。土曜日は午前中ですと、ケアをしているパートナーのほうが多いというような学校もあるやに聞いておりますので、そこら辺はちょっと状況を見て、土曜日というところで判断をさせていただいたというところでございます。

○横地委員

322人という、全部でということですか。市全部で。

○石黒子育て支援課担当課長

延べの利用者ということですか。

○横地委員

ありがとうございます。でも、少ないといっても、1人でも2人でも、それを頼りにしているファミリーはいるのかなというところで、その辺も丁寧にケアしていかなければいけないのではないかなと思います。それはなぜかという、やはり対象が子どもなので、子どもの居場所がなくなるというところは、本当に大人が守るべきことではないかなと思いました。ありがとうございました。

○村松教育長

他に御質疑、御意見はありますか。

○村上委員

ふれあいスクールのことなのですけれども、平日の放課後が変化なくということで、私も安心いたしました。土曜日はなくなるということで、その告知の際に、今いろいろおっしゃっていただいたスマイルであるとか、いろいろな施設、コミュニティセンターであるとか、そういう利用ができますよという案内も御一緒にしていただけたらなというように思います。また、夏休みなどの長期休みに関しては、何かもう決まっていることがあるのか、それとも変化があるのかということ、わかっていらっしゃったら、決まっていちゃったら教えていただきたいと思います。

○石黒子育て支援課担当課長

子どもさん向けのチラシにつきまして、今、村上委員がおっしゃられた、ほかの施設も使

えますというようなところは記載をさせていただいて、今つくっているところです。夏休みにつきましては、土曜日以外は従来と同じような形、昨年までと同じ形で開館をするということ今動いております。

○村上委員

よろしく申し上げます。

○村松教育長

他に、この内容について、御質疑、御意見はよろしいですか。

では、その他、議事ありますか。

○翁川文化スポーツ課担当課長

文化スポーツ課より、第65回逗子市内一周駅伝競争大会の結果について御報告申し上げます。

1月14日（日曜日）午前9時スタートで、地域対抗の部12チーム、団体対抗の部が33チーム、オープン参加、米軍家族チーム1チームの合計46チームの参加がございました。本大会も神武寺トンネルの工事に伴い、昨年同様の5区間のコースで実施いたしました。逗子警察署を初め関係機関の御協力のもと、事故もなく無事に終了することができました。教育長を初め横地委員、村上委員の御出席、どうもありがとうございました。

結果につきましては、地域対抗の部の1位は小坪Aチーム、2位は桜山Aチーム、3位は新宿Aチームでした。団体対抗の部の1位は逗子開成Bチーム、2位は逗子開成Aチーム、3位は竹駒Aチーム、4位に逗子市役所Aチームが入ることができました。以上です。

○村松教育長

駅伝に関して何か御質疑、御意見はありませんか。

○横地委員

駅伝も見させていただいたのですけれども、ゴールまではちょっといられなかったのですけれども、途中までは、たすきがつながるか、つながらないかというところまでは応援させていただきました。毎年出てないので、あれなのですけれども、観覧をしている人からお話を聞いたところ、応援の人たちが例年より少し少ないかしらなんていう声をちらっと聞きました。私は比べることができないのですけれども。ただ、今、トンネルが使えないということと、あとこれから先、駅伝を続ける上での交通の心配とかいろいろなことがあると思うのですけれども、どんな形にしろ逗子の駅伝というのはすごく伝統ありますので、続くことを望んでいます。以上です。

○村松教育長

ありがとうございました。私も開会式の挨拶で、今回のコースは今年限りですと言ったのですが、それはトンネル工事が終了するという意味で、来年度以降についてはまたいろいろ検討していると思いますし、応援は、私も自転車で何か所か回りましたが、昨年度並みという印象だったかなというふうに思っています。各地区でそれぞれ横断幕のようなものをつくって、張れないので、2人の人が手で持って、選手に見えるようにしていたり、それから消防、警察、米軍家族と、そういう参加についても盛り上がる内容としてはよかったかなというように思っています。

他によろしいでしょうか。

○村上委員

私も初めて駅伝の開会式に参加させていただきました。いろいろな立場の方が参加されていて、やはり歴史を感じることができました。皆さん、すごく早い時間から、私、住んでいるのが会場に近いものですので、アップしていたりとか、市内が盛り上がっている様子を感じ取ることができました。また、地域の方のお話によって、毎年高生で走れる陸上の方を大会の方が探していらっしゃったりとかいう面でも、地域の知らない大会の方と子どもたちがつながるいい機会になっているなということを毎回感じています。今年は受験のために出席できなかったという父兄の方も応援に来られていたりですか、やはり地域にとって、この市内を回るといのは、ほかの市ではできない取り組みですし、ぜひ続けていただきたいなと切に思いました。以上です。

○村松教育長

ありがとうございました。他に御意見ありませんか。閉会式での紹介のところ、神奈川駅伝とか、その他については何かお話、あと中学生の代表選手の紹介とかは。

○翁川文化スポーツ課担当課長

2月の11日に神奈川市町村対抗駅伝に逗子のチームも参加することになっております。田部井先生を初め、当日、教育長にも開会式に出ていただくような形です。逗子も中学生の久木中学校の安澤選手が非常にいい成績を今回もとることができて、神奈川駅伝のほうにも参加ということで、中学生のレベルが非常に高いので、記録を持っているということで、期待をしているところでございます。

○村松教育長

あと、安澤君は今度の日曜日の、都道府県対抗駅伝男子の、広島で行われる男子の部の中

学生代表選手として、今のところ6区を走る予定ということで、テレビにも放映される可能性がありますので、ぜひその辺も楽しみにしたいと思っています。

他に御質疑ございませんですか。

その他、議事は。

○川名学校教育課長

それでは、市内小・中学校の様子を各学校の校長・教頭からの報告をもとにお伝えしたいと思います。

まずは中学校から。3年生は進路決定に向けての最後の追い込みにかかっています。新年明けての全校集会では、入試モードになっている3年生に向けて、校長先生より次のようなメッセージが送られました。受験生だからこそ甘えない。何かおうちのためになること、仕事を持ちなさい。今までやってきたことに自信を持つこと。君たちは自慢の生徒。大丈夫と、3年生は校長先生よりエネルギーを注入されたとのこと。2年生は、5月実施の修学旅行の準備が既に始まっています。1年生が職業についての理解を深めるために、職業講演会を2月6日に実施する学校があります。学年を8つのグループに分けて、地域講師のお話を聞くのだそうです。講師には出版社、博物館学芸員、スポーツ指導者、自動車製造、旅行代理店、木材店、スポーツ用品販売店、和菓子店の方々とのこと。

1月10日に市役所防災安全課の職員を講師に、防災学習を行った学校があります。23年前に阪神大震災が発生した1月17日を1週間後に迎えることもあり、日本列島を取り巻く活断層、海中プレートを踏まえ、過去に起きた地震や津波災害を具体的に説明いただきました。その中で、自分の命は自分で守るということを柱に、自分たちが住んでいる逗子の地域の様子を過去の地層や大昔の写真を交えながら、わかりやすく説明いただきました。生徒たちは自分が住んでいる逗子の環境を再認識するとともに、災害はいつ起きてもおかしくない。そのとき自分はどのように行動するべきかについて考える貴重な時間になったとのこと。

久木中学校の3年生女子が神奈川県教育委員会主催の文化財保護ポスターコンクールでグランプリに選ばれました。受賞作品は、市役所5階の子どもギャラリーに展示してあります。先ほどお話に出ましたが、同じく久木中学校の3年生男子1名が明後日1月21日に広島で行われる全国都道府県駅伝大会に出場し、中学生区間を走る予定になっています。

続いて小学校です。今回は暦の関係で17日間と、長い冬休みでした。どの学校でも1月9日の休み明けには友達や先生と久しぶりに再会し、年末・年始をどのように過ごしたかを発表し合ったりして、うれしく楽しい時間を過ごしたとのこと。

1月11日からユニセフ募金を始めた学校があります。ユニセフ募金って、どうしてやるのか、お金を集めて、そのお金はどのように使われるのか、子どもたちは担任の先生から説明を受けました。200円でペースト状の栄養治療食4袋分になる。3,000円では脱水症から命を守るORS、経口補水液448袋分になる。5,000円では予防接種ワクチン164回分になる。集まったお金はこのようなものに使われるんだよと、子どもたちは真剣なまなざしで先生の話聞いていたとのこと。担任の教員は、子どもたちが世界で生きている人々に関心を持つこと、私たちの生活、生き方に目を向けて考えてみることの重要性を子どもたちの真剣な様子から再認識したとのこと。

次に、沼間小学校より、次のような報告をいただきました。先週の1月11日、留守番役の教頭と数名の職員を除いたほぼ全職員が沼間中学校にて行われた中学校給食試食会に行ってきました。試食会を済ませ、学校に戻ってきた職員からは、一同に、とてもおいしかった、量も多かったなど、絶賛の声ばかりでした。中学校の給食はまずいという一部の声が風評となり、小学校の保護者ばかりか、職員の間でもそのような残念なうわさが広がっていましたが、今回の試食会で中学校給食のイメージは一変しました。また、当日は中学生の配膳の様子や、実際に喫食している様子も見ることができました。学校教育課の栄養士の方のお話も、大変よかったと聞いています。高学年の教諭は、これから中学校給食を喫食する児童や保護者にも、中学校の給食はとてもおいしいよと伝えると言っていました。そういう意味で、今回の試食会はとても意義あるものだと思っています。他の小学校でも全職員で試食会が実施できるようになるといいと思います。このような内容でした。

今週になってインフルエンザによる学級閉鎖が小学校4校と中学校1校で、合計6クラスとなっております。昨日から立春前の春の土用の時期に入りました。春の気配がほんの少し感じられる時期には入ったものの、まだまだこれからが冬本番です。子どもたちには健康で充実した学校生活を過ごし、暖かな、うれしい、新しい季節を迎えてほしいと思っております。

以上、市内小・中学校の報告とさせていただきます。

○村松教育長

ありがとうございました。というふうな、うれしいニュース、それからインフルエンザの学級閉鎖も始まりましたけれども、この件について何か御質疑とか御意見とかありますか。

○塚越委員

どうもありがとうございます。今、最後に給食の試食会のお話がありましたけれども、私

の長男が来年度から中学に入ること、やはり保護者の間で給食がどうのという話が飛び交う昨今でしたが、私自身も給食をいただいて、非常においしいと感じたこともありまして、やはり実際に現場に行って、食べて、感じて、その言葉でお話をするということって、すごく大事だなと思います。それを小学校の先生方がそうやって体感されて、そのような感想を持たれてというのは非常に心強いことだなと思ひまして、ぜひその取り組み、沼間小学校だけでなく、ほかの小学校の先生方にもそういった取り組みで、中学校と小学校と連携して、誤解のないよというか、正直なこと、だめなものはだめでいいと思うのですけれども、いいと思ったことはちゃんと伝えていけるようなことがやっていけたらいいなど、その取り組みを伺って心強く思いました。ありがとうございました。

○村松教育長

ありがとうございました。今回はちょうど中学校は給食が実施されていて、小学校はまだ給食がスタートしていない期間という、その時期を使っての実施ということでした。他にいかがでしょうか。

○横地委員

今のちょっと給食のことなのですけれども、17日間、たまたまこの冬休みだったということで、当てはまってないのかもしれないのですけれども。ちょっと細かいことなのですが、今、野菜がすごい高騰していて、ちょっとおさまったのですけれども、その辺の影響は給食にはなかったのでしょうか。献立とか。

○川名学校教育課長

現在のところはメニューの予定どおり、何とかやりくりをして提供しております。

○横地委員

それはよかったです。多分この17日間が一番高かったのかもしれないのですけれども、タイミングよく年末・年始になったのかなと思います。やはり野菜とか、そういうものは必要だと思いますので。ありがとうございました。

○村松教育長

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

その他については、議事として何かありますか。

○村松教育部次長

事務局からは以上でございます。

○村松教育長

それでは、教育委員さんからその他については、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、以上でその他については終わります。

次回の定例会についてですが、2月23日(金曜日)午後2時30分からを予定しておりますが、決定については改めて委員に御通知いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会1月定例会を終了いたします。ありがとうございました。